

背景

- 現代社会＝知識社会
- 人間は知識の実体化したものである文書を利用して「知的活動」を行っている
- 多くの文書管理システムが開発

既存の文書管理システムの問題

- 文書管理システム＝文書の倉庫
- 多量の文書の保管と検索がメイン
- 文書をめぐる人間の行動には目を向いてない

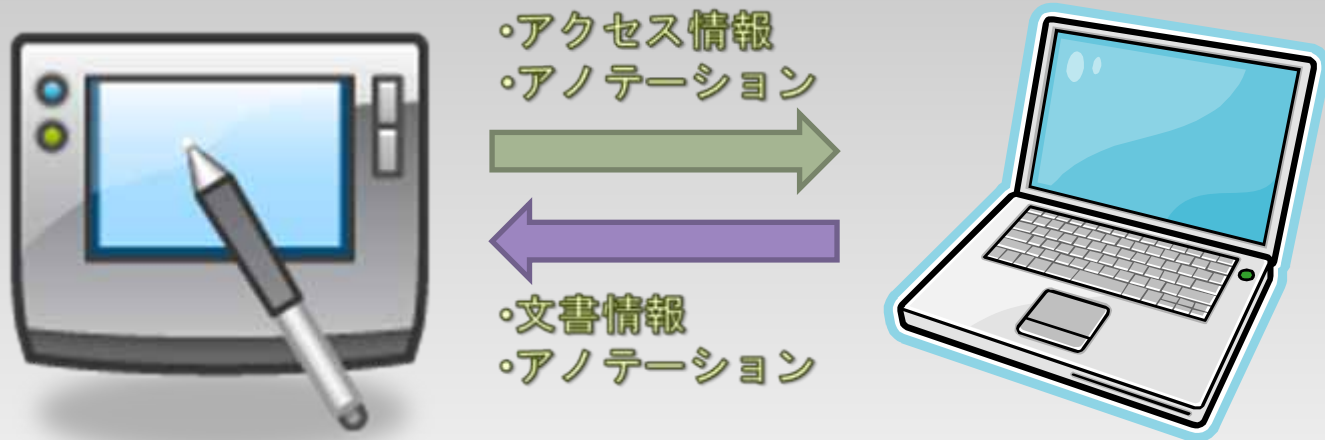
人間の「知的活動」を多方面に
支援できるシステムが必要

知的活動支援システム

東京大学大学院 情報理工学系研究科
創造情報学専攻 李相錫(イサンソク)

LEE@NUE.CI.I.U-TOKYO.AC.JP

提案



文書ビューア

- 文書の閲覧
- アノテーション書き込み
- 文書、アノテーションに対する利用者の時間軸、空間軸のアクセス情報を自動記録

管理ソフト

- ビューアからの情報で過去の知的活動を容易に思う出せる環境を構築
- アクセス情報、アノテーションを文書管理のネタで活用
- アノテーションの活用で新しい知識を生み出す環境を構築

知的活動支援システム

東京大学大学院 情報理工学系研究科
創造情報学専攻 李相錫(イサンソク)

LEE@NUE.CI.I.U-TOKYO.AC.JP